

# 秩父市役所本庁舎及び市民会館建設基本構想（案）

## 市民説明会結果報告

「秩父市役所本庁舎及び市民会館建設基本構想（案）」に対するパブリックコメントの手続きに際して、市民説明会を開催しました。市民説明会における、質疑応答の概要について取りまとめましたので報告いたします。多くの市民の皆さんにご参加いただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見やご要望は、今後の参考とさせていただきます。

### 1 市民説明会の概要

#### (1) 開催日及び会場

No	開催日	時 間	会 場	参加者数
1	3月26日（火）	18:30～19:30	吉田・やまなみ会館	37人
2	4月1日（日）	14:00～15:00	秩父市歴史文化伝承館	47人
3	4月3日（火）	18:30～19:30	秩父市歴史文化伝承館	29人
4	4月5日（木）	18:30～19:30	荒川農村環境改善センター	49人
5	4月10日（火）	18:30～19:30	大滝振興会館	14人
計5回				176人

#### (2) 秩父市からの出席者

市長、副市長、教育長、市長室長、財務部長、地域整備部長、総合支所長（該当会場のみ）  
事務局（建築住宅課、市役所本庁舎等建設準備室）

## 2 質疑応答の概要

### (1) 質疑応答 (11件)

No	ご質問の概要	回答の要旨
1	新築にあたり会議室スペースはどのようになるのか。	会議室のスペースは、現在の市役所本庁舎と市民会館の会議室を合わせた面積より減少となる計画である。利用状況の分析を行い、適切な配置計画が図れるように考えている。
2	郊外から集まる者にとって、駐車場はできるだけ多くしてもらいたい。現在の市民会館の地下部分に駐車場ができるかも検討してもらいたい。	現在、構内及び隣接駐車場を含め404台分ある。基本構想案では全体で500台～550台分を目標にしている。今後の設計にあたり必要台数の把握と、整備のためのコスト等を十分検討していく。
3	歴史文化伝承館は屋上に植栽がされているが、新しい庁舎はどのようにするのか。	緑化については、植栽の必要面積等条例による指導もあり、また、環境、省エネ上から検討をする必要がある。
4	そもそも市民会館に1,000人規模のホールは必要なのか。今後、人口も減少していく。周りの町にもホールはあるし、体育館も利用できる。維持にもお金がかかる。	1,000席は必ずしも毎回必要ではないが、学校などで1,000人規模の催しもあり、文化・教養を育てる場所として今後も必要だと考えている。
5	1,000人規模のホールは必要だと思う。市民音楽祭も2つに分けて開催しなければならなかった。市民の中心となる場所にホールが必要である。切迫した問題である。	(以下は、市長が閉会あいさつの際に回答) ホールの規模については、秩父地域全体の中で考えたい。秩父には歌舞伎、神楽をはじめ伝統文化があり全国に発信できる素晴らしいものである。地域の魅力を作り出していきたい。市民会議でも多くの意見をいただき、この規模に集約された。
6	合築は利便性が高いというが、機能分散している現状も斬新な配置だと思う。ネットワークも活用できる。規模を小さくさせていく必要もある。分散配置というが、これまでの吉	(以下は、市長が閉会あいさつの際に回答) 現在は、申請・届出など市民の皆様にご負担をお掛けしている。職員の移動連絡にも多くの時間と経費を費やしている。電子化もあ

	田・大滝・荒川の人たちは不便であった。	る程度は可能だが、危機管理の面からも集約して業務にあたること が望ましい。また、市民の皆様のプライバシー保護やサービスの充 実のためにも、それにふさわしいものとしたい。
7	建設の財源の内容をもう一度聞きたい。	合併特例債は少なくとも約15億円を充てる予定である。国からの 補助金が約3億円、基金は約30億円を見込んでおり、現在それに近 い額の積立てが用意できている。
8	木材を活用し秩父らしさを感じられる表現としてはどの ように考えているか。秩父には木がたくさんあり、活用する 方策を検討してもらいたい。	法律上の制約やコスト的な課題はあるが、秩父は森林資源の宝庫 であり、木の持つ特性を生かし、利用することを考えている。今後 の設計にあたり木質化や木材と鉄筋コンクリートを複合した混構 造による建築等、秩父らしさを感じられるよう、検討していく。
9	市役所の建物は本質的に弱かったということは、コンクリ ートの質や設計が悪かったのか。	当時の建築基準法の構造基準には適合していた。不良工事や設計 ミスではない。しかし、現在の法律で求められる構造基準には不足 した状態となっている。
10	建設予定地の地盤は液状化の心配はないか。	予定地の過去の地盤調査によると地下4 mから5 mで泥岩層と なり、この上部は玉石混じりの土砂層となっているため、液状化は 起こらないと考えている。
11	大滝総合支所は同時期の建設であり耐震性も低いと思わ れるが、今後についてどのように考えているか。また、新し く造る本庁舎の建設では、地域産木材をふんだんに使い魅力 あるものを造ってもらいたい。現在地への合築は、商業圏や 交通網を考えると機能的で一番よいと思う。	(以下は、市長が閉会あいさつの際に回答) 大滝総合支所の耐震対策についても早急に対応していきたいと 考えている。 市役所・市民会館の建設にあたっては、市民を守ることができ、 木材を活かした魅力ある施設とし、後世の人にも誇れるものとなる ようにしたい。

(2) ご意見・ご要望 (6件)

No	ご意見・ご要望の概要
1	建て替えと改修のコストはあまり変わらないことが分かった。 市民会館ホールは、1,000席位は必要だと思う。
2	構想の考え方は今のままで良いと思う。今後、女性の意見も入れていただきたい。市民会館の1000席は是非必要だと思うが、参加人数により仕切れるなどの工夫をされるといいと思う。
3	演劇活動を行っている者にとってホールの実用性は大変重要である。客席の配列、音響や照明設備、残響時間さらに舞台の利用勝手やバックステージ等について、演劇、講演、音楽等の利用目的とホールの特性をどうするのかを十分考えて計画してもらいたい。
4	基本構想案の説明を聞いて是非そのように進めていただきたいと思う。
5	以前は図書館やプールが町の中心部にあった。周りから来る人や高齢者にとっても交通が便利である中心部に施設を建ててもらいたい。
6	今日の説明で建替えについて理解できた。 工事にあたっては、地産地消の考えで地元の優れた技術が生かせるよう、特殊な技術は取り入れず地元の人が造り、誇りが持てるようなものにしてもらいたい。